

和紙の里コーナー

◎今後予定のイベント

・遊芸窯展示即売会

5月1日(土)～4日(火・祝)

・和紙の里文化フェスティバル

5月15日(土)～16日(日)

・版画フォーラム2010

6月19日(土)～27日(日)

・ウチヨウ蘭展

6月19日(土)～20日(日)

東秩父村和紙の里 ☎82-1468

図書館からのお知らせ

平日も開館しています！読みたい本がありましたらリクエストもできますのでご利用ください。5月15日(土)には、和紙の里文化フェスティバルで、「図書館の雑誌プレゼント」を開催します。ぜひお越しください。

～ 今月のおすすめ図書 ～

「アントキノイノチ」

さだまさし 著 幻冬舎

杏平は、ある同級生の悪意がもとでここを壊し、高校を中退する。現在21歳、父の勧めで遺品整理の会社で働き始める。父や会社の人達、仏様や依頼主、居酒屋のゆきちゃん…。

周囲の人々の温かさの中で、彼の心は少しずつ自分を取り戻していく。

生きることの重さ、生命の大切に胸が熱くなる一冊です。



東秩父俳句会

生きること素晴らしきかな花万
朶 旭 青草

春泥に敢えて踏み込む豆の靴
小林 梢月

春雨や母のつむぎし絹の糸
宮崎 かつ代

咲き満ちて和太鼓響く桃の里
富田 公子

樹々芽吹く山あい灯す家まばら
旭 利子

春雨に校に小走り一年生
宮崎 昌子

巢燕や手斧つくりの百年家
笠原 勝子

春満月海の果てより津波くる
篠澤 ひこ

散歩道日毎に青む春の雨
井上 スミ

孫の来て居間に声あり春の泥
鈴木まさよし

大戦を語る石碑陽炎へり
鶴川 次作

文

みどりの杜俳句会

啓蟄の庭隅に孤燃やすかな
村田 和男

連翹の蕾色づき雨静か
津田富喜雄

春雨や木の天辺に鴉居て
土屋 寿子

春の雪降りて積らず地に滲む
千野 けい

背山より初音一声たしかなり
村上 古乃

らっぱ水仙人呼ぶ如く揺れてを
河西力ナメ

薬残り赤チューリップ土に散る
青山 フミ

川端に姿は見えず蛙鳴く
飯野 トヨ

落のたう恵みの雨にうす緑
関根 澄江

水温み服薬のまた減りにけり
佐野 徳實

積りたる雪に愛犬かけ回る
小久保芳宣

白石短歌会

犬ふぐり小さな花弁群がりて
草花なれど愛しき命
渡邊 京子

シユウシャインボーイ戦後の頃
がよみがえり体中に切なさしみ
渡邊美枝子

孫二人保育所に行く日の近し
各々の持物揃へつつ待つ
坂本 美江

朝の陽の耀う向かいの山裾を
薄紅広きに染むる花桃
白石 礼子

かろやかな水音聞きつあさまだ
き客のよろこぶ葉わさびを摘む
渡邊阿里子

短歌

雪解水何時しか増して谷合いの
小滝の音が聞え来にけり
みたび

三度行き見れども見事な清雲寺
の六百年の桜変らず咲けり
みたび

雷鳴の近づく中を走る学見ら
家に着く間に雨は来ないか
高田馬之丞

春の夜にわが思うなり若き日の
からくれないの悲しかりけり
嶋田 かめ

芸